

来年は創業 60 周年 感謝を込めた企画を続々実施！

1958 年（昭和 33 年）に用賀の地から用賀・二子玉川地域に新聞をお届けし始めて来年で 60 年。人というと還暦を迎えることになります。時計では 60 といえばちょうど 1 周。新たな周回に向けて来年 ASA 用賀・二子玉川は購読者の皆様に日頃の感謝を込めた企画を考えております。続々と展開される企画の詳細はこのフレンドリーコムや折込みチラシでご案内します。ご期待ください！

蛇崩川緑道を歩いてみる

三軒茶屋から国道 246 号線を二子玉川に向かって歩いていくと世田谷郵便局の手前に緑に覆われた小道があるのに気づきます。「蛇崩川緑道」です。旧弦巻村を水源に、旧上馬引沢村から旧下馬引沢村を通して、目黒区の旧上目黒村で目黒川に合流する蛇崩川に蓋をしてできた緑道です。蛇崩川の名称の由来は、流れる形が赤土の地層を崩したように蛇行しているところから、そう呼ばれるようになったと言われています。以前から気になっていたもので、今回思い切って歩いてみることにしました。国道を挟んで中目黒方面と弦巻方面に伸びているのですが、今回はもちろん地元に通じる弦巻方面を歩いてみました。



緑道の入口。左は世田谷 P.O



いよいよ涼しげな右手の緑道へ



沿道の草花には丁寧なプレートが



住宅街の中を進んでいきます



丸山橋を越えると丸山公園



こういうの大好きでした



滑り台はいつでも子供に大人気



気持ちよさそうに日向ぼっこ



かつては小さな橋が緑道にいくつも架かっていました。その名残。



ここには郷之橋が架かっていました

* てくたく刀サッチ #53 「馬事公苑」と用賀 2-1 *

JRA 馬事公苑は、昭和 15 年（1940）帝国競馬協会により馬術の普及と騎手養成のために開設されました。また、同年東京で開催予定だった第 12 回オリンピック大会の馬術競技会場でしたが、戦争により中止となり、以後、軍馬の改良、訓練などにも使われていました。昭和 39 年第 18 回オリンピック東京大会が開催された時は、馬術競技の主会場となりました。入口右奥の芝馬場が競技に使われた記念馬場で、その横にオリンピック記念碑が木立に囲まれて建っていました。約 5 万坪の苑内は、武蔵野の面影を残す雑木林や八重桜の林など緑に溢れ、四季折々の自然に出会えました。現在は 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて大改修中です。区での再開は 2022 年秋頃の予定になっています。



現在工事中です



ベンチで時の流れに身を任せる



木漏れ日が優しく身を包みます



橋ではなくなりましたが鎌倉山橋です



環7下の駒留橋



またまた住宅街の中へ



静寂が漂う気持ちの良い緑道



かつては宮前橋でした



住宅街の中を更に進みます



これぞまさしく縁石



ここには田端橋がありました



桜の巨木が大迫力



桜の季節このベンチは特等席



川のせせらぎや杉木立の道、広場にでーんと寝転ぶ彫刻「野原の休息」や「振子のね」。小さい子ども遊べるようにブランコや滑り台ジャングルジム。大人向けの健康遊具もあります。天気の良い日に文庫本一冊持って是非遊びに行ってみては？

小泉公園。広く開放的な公園です。季節ごとの自然が楽しめます。中心にそびえるのはヒツバタゴ。別名ナンジャモンジャノキ



小泉公園内は真直ぐな緑道



ここにはかつて駒沢橋がありました



親和橋跡。ここで緑道は終わりますが弦巻通り沿いの歩道が素敵です



ご自宅まで配達します！ 2017年 アサッチのオススメ本！ 10月

グランプリシリーズ オフィシャルガイドブック フィギュアスケート 2017-2018 定価：1944円（税込）

◎絶対王者の孤高：羽生結弦 ◎結弦へ、それぞれの思い～都築章一郎／田中総司／シェイリン・ボーン
◎宇野昌磨 「追いかけていきたい」 ◎2シートをめぐる ゆずれない戦い～宮原知子
◎二人で織りなす愛と美の氷上劇～須藤澄玲 & フランシス ブードロ・オデ／村元哉中 & クリス・リード
◎グランプリシリーズ 2017 ガイド～6大会&GPファイナル／出場選手一覧／知っておきたい基礎知識